

行政評価シート

評価年度	令和7(2025)年度		事業実施年度	令和6(2024)年度		
基本目標	1	安心してこどもを産み、誰もが豊かな心を育むまち				
取組方針	3	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう				
取組分野	4	多文化共生				
施策主管部局	総務部					
担当課	市長公室	協働推進課	学校教育課			

1. 目標指標(PLAN)

指標名	R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 最終目標
多文化共生に関する取り組みの市民満足度割合	63.4%	84.1%	81.4%	80%	80%	80%	68%

2. 主な取組の評価(DO・CHECK)

(1) 多文化共生の推進

昨年度実施結果	課題
日本語教室を週2回開催。ボランティア向け勉強会を実施し、日本語教室の充実に努めた。また外国人のための暮らし役立ちリーフレットを作成し、外国人へ暮らしに役立つ情報を周知した。	日本語教室において、日本語が全く話せない初期の外国人受講生が減少しているため、周知方法を検討する。

(2) 国際交流活動の充実

昨年度実施結果	課題
友好都市であるコロンバス市への中学生派遣や教育親善大使の受け入れを行った。また、コロンバス市の高校生の来訪対応もを行い、ホームステイを通じて日本の文化・習慣を学び、交流を図った。	中学生の派遣に当たっては、引率教諭の負担が大きい。また、親善大使や高校生の受け入れに当たって、ホームステイ先の安定的な確保が課題である。

(3) 外国人児童生徒への適応支援

昨年度実施結果	課題
日本語が十分でない外国人児童生徒のための初期指導教室や就学前及び小学1・2年生のこどもへの日本語教室を実施した。	日本語を全く話すことができない外国人児童生徒の転入が増えている。

昨年度実施結果	課題

昨年度実施結果	課題

昨年度実施結果	課題

昨年度実施結果	課題

3. 結果と今後の方向性(ACTION)

進捗状況 (S: 複進中, A: 予定通り, B: 遅れ気味)	今後の方向性
A	日本語ボランティアの活動支援を継続して行い、より一層の日本語教室の充実を図る。また、外国人のための暮らし役立ちリーフレットの配布・周知を進め、外国人も一市民としてまちづくりに参加できるよう努める。

行政評価シート

評価年度	令和7(2025)年度		事業実施年度	令和6(2024)年度		
基本目標	1	安心してこどもを産み、誰もが豊かな心を育むまち				
取組方針	3	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう				
取組分野	4	多文化共生				
施策主管部局	総務部					
担当課	市長公室	協働推進課	学校教育課			

4. 関連する事務事業の評価

関連する事務事業のR6決算総額:	12,791,240 円
関連する事務事業のR7予算総額:	24,339,000 円

事務事業名 (担当課)	事業概要		事業の方向性(評価及び実施内容)					
R6決算額	施策内優先度		事業の見直し・改善の取組					
R7予算額								
友好都市交流事務	平成7(1995)年2月に友好提携した米国インディアナ州コロンバス市との交流を行う。隔年でコロンバス市の高校生がみよし市を訪問し、ホームステイ等を通じて日本の文化・習慣を学び市民との交流を図る。						現状維持	コロンバス市高校生来訪団の来訪は、令和2(2020)年度以降新型コロナウィルス感染症の影響により中止となっていたが、令和6(2024)年度から再開し、今後は隔年で来訪予定。
市長公室							特になし	
R6決算額 598,326 円	施策内優先度		A					
R7予算額 3,401,000 円				R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標
国際交流ボランティア登録者数	人	44	R5 実績	48	50	53	56	60

事務事業名 (担当課)	事業概要		事業の方向性(評価及び実施内容)					
R6決算額	施策内優先度		事業の見直し・改善の取組					
R7予算額								
多文化共生推進事業	定住化傾向にある外国人に、一市民としてまちづくりに参加してもらうためには市民との意思疎通と相互の理解を図ることが重要であることから、在住外国人への日本語指導、通知文書等の翻訳などの事業を推進する。						現状維持	日本語指導ボランティアの活動の支援を継続して行い、より一層の日本語教室の充実を図る。さらに、外国人も一市民としてまちづくりに参加できるようにして、意見交換できる場について検討していく。
協働推進課							日本語教室で在住外国人の声を聞き、生活の助けになるよう今後も日本語を教えていく。	
R6決算額 1,026,786 円	施策内優先度		B					
R7予算額 1,257,000 円				R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標
日本語教室に通う外国人学習者の人数	人	88	R5 実績	114	97	125	130	135

行政評価シート

評価年度	令和7(2025)年度		事業実施年度	令和6(2024)年度	
基本目標	1	安心してこどもを産み、誰もが豊かな心を育むまち			
取組方針	3	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう			
取組分野	4	多文化共生			
施策主管部局	総務部				
担当課	市長公室	協働推進課	学校教育課		

事務事業名 (担当課)	事業概要		事業の方向性(評価及び実施内容)								
R6決算額	施策内優先度		事業の見直し・改善の取組								
R7予算額			友好都市コロンバス市の教育関係者を教育親善大使として招へいし、市内小中学校において友好交流及び国際交流をより深める。			現状維持	小中学校における国際交流を促進するために継続することが必要である。				
友好都市教育親善大使受入事業											
学校教育課											
R6決算額 482,790 円							ホームステイ先の確保が困難になってきていることから、ホテルへの宿泊に切り替えるなど事業が確実に行えるように見直しを行う。				
R7予算額 571,000 円	施策内優先度	B									
成果指標 (指標名)	(単位)	R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標			
訪問予定時間に対する実績の割合	%	0	100	100	100	100	100	100			

事務事業名 (担当課)	事業概要		事業の方向性(評価及び実施内容)								
R6決算額	施策内優先度		事業の見直し・改善の取組								
R7予算額			友好都市コロンバス市へ市内中学校の代表生徒を派遣し、国際交流、地域間交流を推進する。			現状維持	友好都市コロンバス市へ市内小学校の代表生徒を派遣し、国際交流、地域間交流を推進するため、今後も必要な見直しを図りながら継続して事業を実施する。				
友好都市中学生派遣事業											
学校教育課											
R6決算額 10,683,338 円							団長を務める校長は生徒と別行動を取ることが多く、3人の引率教諭で16人の生徒を管理することは負担が大きいことから、校長の所属校からも引率教諭を1人追加する。				
R7予算額 19,110,000 円	施策内優先度	A									
成果指標 (指標名)	(単位)	R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標			
交流を深めたと感じる生徒数	人	0	8	16	16	16	16	16			